

- 1 開催日時** 平成26年6月20日(金)
午前10時～11時

開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室

2 出席者

- (1) 市民会議委員 20名
(2) 事務局 松岡市長公室長、舟橋市長公室次長
協働推進課：江口課長、伊藤課長補佐、堀田係長、葛谷
(3) 傍聴者 なし

3 会議資料

会議次第
委員名簿
地域協議会市民会議設置要綱
平成26年度地域協議会市民会議開催予定

4 会議内容

- 1 委嘱状の交付
- 2 市長あいさつ
- 3 正副会長の選任
- 4 地域協議会市民会議の役割について
- 5 その他

〔市民憲章唱和の後、市長から委員を代表して落合委員へ委嘱状を交付〕

【市長】

改めまして、皆さん、おはようございます。

本日は、地域協議会市民会議の本年度初めての会議ということで、通算では、第10回の会議ということでございます。

新しく委員になられました皆様もこの市民会議のほうに御出席いただきまして、またお引き受けをいただきまして、感謝を申し上げたいと思います。

この地域協議会につきましては、これまで市民会議におきまして、いろいろと議論をいただきまして、制度設計を進めてまいりました。今、その制度方針に基づきまして、この3月に第1号となります陶小学校区での地域協議会が設立をされたところでございます。また、他の校区におきましても、いろいろと御相談をする中で、設立に向けて努力をいただいている地域もあるわけでございます。

この地域協議会につきまして、改めて申し上げますと、今後の地域での一層の支え合い、助け合い、こういったものを進めていく一つの組織でございます。

本市も高齢化率がとうとう21%を超えたところでございます。実は昨年3月に20%を超えたという話をしております、確実に高齢化が進んでおります。

恐らく今の小牧市第6次総合計画新基本計画、今年度から5カ年の計画としてこの4月にスタートしたところでございますけれども、その中においても「支え合い共生都市」ということを目指しているわけでございますが、恐らく5年後までに25%に近づいていくだろうという予測でございます。

また、人口につきましても、より住みやすい、住み続けたい、そういったまちづくりを進める中で、多くの方々、若い方も含めて小牧に住んでいただきたいというふうに願っておるわけでございますが、いよいよ人口も減少傾向に転じるんじゃないかと、そんな予測もあるわけございまして、この少子高齢化と人口減少、こういった全国的な傾向が小牧にも押し寄せてきている、そんなような状況でございます。

そうした中で、やはり自治体、あるいは地域にとって最大の課題は、年をとっても安心して住み続けることができる、そういった地域をどうつくっていくのかということだというふうに思っております。

今の地域におきましては、行政区としては128の行政区がございまして、区長の皆様に行政事務の一部を委嘱させていただいております。また、区を中心に、民生児童委員さんや保健連絡員さん、交通委員さんなど、さまざまな方に御活躍

をいただいております。その他、ボランティア組織や市民団体等々の自主的な活動も行っております。

そんな中で、やはり多くの方々からお声をいただくのは、なかなか担い手がないということで、苦勞されているというような実情を聞くわけでありまして、そういった状況がだんだんと深刻になってきている部分もあろうかと思えます。

実は、高齢化の中で高齢者の数は確実にふえておるんですけども、一方で、老人クラブが衰退してきている、要するに解散というふうになっているところもあります。その理由を伺いますと、会長を受けてくれる人がいないと、お世話をしてくれる人がいないんだと、そんなようなお話を聞くわけでありまして、子ども会はもとより、老人クラブでもそういった傾向があるという実情でございます。また、自治会の加入率につきましても、まだまだ小牧は近隣より高いんですけども、減少傾向にあることも事実でございます。

そうした中でどうしていくかということのをいろいろ考えているわけでありまして、区の役割は地理的な、あるいは歴史的な経緯の中で、自主的に組織をされてきたものでございまして、今後も、区の重要性は変わることはないというふうに思っておりますが、一方で、区長さんとかそういった役職だけではなくて、自主的にそういった支え合いの地域づくりにかかわっていこうという人たちを育てていく必要があるわけでありまして、そういった皆さんをいかに発掘し、育成をし、そして組織化をし、みんなで連携をとってやっていくかということが大事だろうということを思っています。

何かやりたい人、やっていただける人、そういう方々に集まっていただく中で、地域のそういった支え合い、助け合いをやっていこうというのが、今目指しております地域協議会でございます。

そのために、交流事業も行いながら、最終的には福祉分野、高齢化というのが大きいわけでございますけれども、子育てとか、あるいは高齢者の見守り、そういったことで一層連携していけるようなそんな組織を目指しているところでございます。

過去に様々なご意見をいただきまして、その中で、屋上屋を重ねるんではないかというような御意見もあるわけでございますが、やはりそうではなくて、この組織が育っていく、やっていただける人、やりたい人にやっていただく、もう少し気軽にやれることをやっていただく。そして、これからの地域を考えますと、1人の人に重い責任や役割をとということではなくて、やはり広く浅くそういった担い手を探していく。そしてできる範囲で、例えば毎週できないけれども、できるときだったら手伝えるとか、あるいは全く参加できないけれども、別の形で協

力する、いろいろな参加形態を保障していくといたしますか、そういった地域の仕組みが必要ではないかということをおっしゃっているわけでありまして。

子ども会に入ると役員を受けなきゃいけないもんだから入らないとか、そういうこともよくお伺いするんですが、やっぱり結婚して家庭を持って子どもができて初めて地域に関心を持つんだろうと思うんですけれども、そういったときに地域に関わるような機会を失ってしまうような状況になります。

ただ、子ども会は、役員を必ずしも子育て世代の人たちだけがやらなきゃいけないわけでもない。これは私の考えですけれども、例えばもう少し、それを卒業したような方々にお世話になるもの一つだと思っております。

まだスタートしたばかりでありますけれども、そういったネットワークの中で、区と地域協議会の役割分担や区長さんやそれぞれの役の方々の負担軽減等を検討していくとともに、さらにきめ細かい見守りだとか、助け合い活動ができないだろうか、そんなようなことを目指しているのが今の地域協議会でございますので、ぜひよろしくお願いを申し上げたいというふうに思っております。

そういった中で、この地域協議会市民会議におきましては、全体を見ていろいろと御審議等をいただく市民の代表の会議でございます。

陶小学校区におきましては、今年度からスタートしておりますが、また秋頃には次年度の計画等をつくっていただくことになっております。それで、そういった計画の適正等については、ここで御判断をいただくこととなります。そうした中で、私が最終的には市議会へ上程をし、御議決をいただければ、地域のほうに交付をしていくと、そういった流れになっておりますので、ぜひ今後ともよろしくお願いを申し上げたいと思っております。

少し長くなりましたけれども、そんなことで、これからの小牧の地域の安全・安心、見守り、支え合い、助け合い、こういったことを地域で担っていただくためには、非常に重要な制度であるというふうに認識をしておりますので、皆様方の御指導、御鞭撻をこれからお願い申し上げて、挨拶とさせていただきたいと思っております。大変お世話になりますが、よろしくお願ひします。

〔市長退席〕

〔司会より各委員と事務局職員の紹介の後、委員の互選により会長に稲垣委員、副会長に伊東委員が再任された。〕

【会 長】

皆さん、改めまして、おはようございます。

ただいま連合会長から、会長職ということでご推薦いただきまして、大変恐縮しています。浅学非才の私が果たしてこの大役を仰せつかってやっていけるか心配しておりますが、精一杯頑張りたいと思いますので、皆さんの御協力のほど、よろしく申し上げます。

さて、振り返りますと、この市民会議がスタートしたのが平成24年7月12日で、ちょうど発足から2年でございます。先ほど市長からもお話がありましたように、これからは高齢者社会になるということ、もう一つは担い手不足ということで、高齢者が安心して安全に暮らせるようにするにはどうしたらいいか。現在は、区を中心にしておりますけれども、それを超え、小学校単位でやってみようということでございます。

私もちょっと資料を見ましたところ、今までに本市における地域協議会のあり方をいろいろと議論し、そして地域協議会の制度方針ということで資料をまとめました。また、事務局のほうで、それを基にして概要版のパンフレットもつくっていただいております。これが2年間の成果かなと思っております。

そして、昨年度末には16小学校区のうち1校区、陶小学校区がトップで立ち上げていただきましたが、あと15校区が残っております。そういう状況で、私たちが委員に任命されました。今までは制度をつくるなり、どんなふうに展開していいだろうかという疑問もありました。しかし、これからは、もう先人が一部おりますから、あと15校は、委員の皆さん方が地域へお帰りになりまして、区長さんに、もうぼつぼつやりましようやということを声をかけていただきまして、できるだけ多くの地区でこの地域協議会を立ち上げていただきたいと、こんなふうをお願いする次第です。

私も何とか自分の地域でやっていこうということで、進めていこうとしてみましたが、なかなか関係区長の皆様方とのコミュニケーションが十分にとれなくて、今温めておる状態でございます。

私の今年の目標として、最低でも5つの校区、3分の1は立ち上げていただきたいと思っております。それで2年目に3分の1をやる。そうすると、3分の2はできるんじゃないかなと、こんなふうに思っております。そうなれば、そこから先は見る見るうちにできてくるんじゃないかなと、そんなふうにも推察しております。

そんなことで、皆様にはいろいろなお立場で、忌憚のない御意見を出していただきまして、この地域協議会の取組みが成功するように、ひとつ御協力をお願い

しまして、挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【司 会】

ありがとうございました。

それでは、以後の司会進行は会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【会 長】

今、事務局のほうから会長にということでございますので、委員の皆様には御協力をお願いしまして、会を進めていきたいと思っております。

それでは次第の「4 地域協議会市民会議の役割について」および「5 その他」につきまして、一括して事務局に御説明願いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

[事務局から資料に基づき、説明]

【会 長】

どうもありがとうございました。

今、事務局から御説明がございました。このことにつきまして、御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

【委 員】

今、事務局から今年度の会議の予定というのがありましたけど、まだ設立されていない15の地区における今後の進め方の予定というのは、市としては、どういう進め方をしていくのかなということをちょっと聞かせていただきたいなと思います。

【事務局】

具体的にどこだというのがまだはっきりしていませんが、基本的には小学校区単位で集中的に勉強会や研究会をやりたいと考えています。

なるべくそのメンバー、確かに言われるように、区長さんの説明は毎年させていただくんですが、それ以外の方々にもやっぱり集まっただき、とにかく小学校区という単位に絞って集中的に進めていきたいというふうに考えております。

実は勉強会をやりたいというようなお声がかかっている地区もありますので、まずそういったところから集中的に入りたいというふうに考えています。

【会 長】

ありがとうございます。他によろしいですか。初めて委員になられた方もおみ

えですので、何でも結構ですので、ご意見ございませんか。

【副会長】

結構いろんなところで勉強会が始まっているようなことをお聞きしていますけど、子ども会でも一部の人少し理解されていないような話をちらっと聞くものですから、できましたら、子ども会さんにも声をかけてあげていただけたらと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

【事務局】

基本的に小学校区単位でやる際に、まず区長さんのほうに少し声かけをお願いしますということで、御依頼させていただく際には、ぜひ子ども会さんにも声かけいただくように、事務局のほうからもお伝えさせていただきます。

【委員】

この地域協議会という組織は、行政との関わりがあるのか、ないのか、よく分からない。また、ボランティアの人たちが云々という話になると、行政とは離れて、レクリエーション的な催しを中心とした活動をしていくのか、何か釈然としないような気がするんです。

もし行政との関わりがあるとするとするならば、区長会との関係性はどうなるのか、たまたま、市内では南部地区と西部地区にコミュニティーセンターがあり、それぞれ運営協議会を立ち上げ、既にいろいろな活動をやっています。

お話を聞いておると、そういうのも合致するのかなとも思ったり、あれはまた違った話だよということなのか、この辺のところもどうすみ分けていくのかということが、ちょっと釈然としないなと思うんで、そのあたりを教えてください。

【事務局】

現在、基本的には小さい隣組から行政区、小学校区、中学校区、6地区というふうにあります。

小牧市の場合、まず市と関与する組織としてきっちり固めていく前に、そうした小学校区単位でまずボランティアですとか、顔の見える、助け合いができるような環境づくりをまず進めていこうという考え方です。

その組織間の連携がどうなるのか、仕組みをどうするということところで、確かに行政区の御協力がないとできないのも確かですし、西部地区・南部地区のコミュニティーセンターの運営協議会についても十分把握しております。

そういう状況をふまえながら、小学校区単位で取り組んだほうが効率的と思われる防災訓練ですとか、そういったところからまずつながりをつくっていこうということで考えております。

【会 長】

先ほどの意見は、既存のコミュニティの運営協議会と地域協議会との関係性がちょっと分からないということだと思いますが、そのあたりはどうか。

【事務局】

おっしゃるとおり、既存のコミュニティーセンターがある地域とは、十分に協議の必要があるとは認識しています。

基本的に、イベント等のちょっと顔の見える住民同士の交流を中心とした行事というよりは、高齢者関係や、両親が共働きで、地域になかなか子育てできる環境ができていないだとか、そういったところがありますので、地域の中でもそうした見守りや子育て支援なんかの活動に重きを置きながら進めていきたいなというふうには考えております。

【委 員】

留任の委員さんたちは今年で3年目になるということで、それなりに多少なりとも理解しているつもりでおるんだけど、新任の委員さんたちについては、この後、事務局から個別に説明があるようですけど、今までの経過等を説明していただくとも多少なりともわかってもらえるかなあとと思いますので、よろしくお願ひします。

【委 員】

6月8日に味岡地区の区長会をやりまして、協働推進課にも説明していただいたんですが、やはり小学校区単位で地域を分けるということは、非常に複雑なんです。同じ地域で味岡小と一色小とか入りくんでいる。中学校でもそうですが、そういう意見がいろいろと出ておりまして、このままの状況では味岡地区については参加できないだろうと思います。

今まで仲良くやってきた地域が割れちゃうようなことでは意味がないですし、やはり校区単位ということは相当難しいと思います。

【会 長】

今、スポーツ振興会がありますが、それは小学校区単位になっていると思います。味岡地区も同様だと思いますが、この地域協議会もそういう動き方では動けませんか。

【委 員】

結局、地域を分けるということになると、区長さんも大変になる。もちろんいろいろあると思いますが、この校区単位ということ自体もちょっと考えないかなのかなとは思っています。

【委員】

今、味岡地区についてのご意見が出ましたが、小牧原を一つの例にとっても、小牧小、小牧原小、村中小、味岡小の4つの小学校区になるんですね。その中で、昨年も言わせていただきましたけれども、よほどの人でないとまとめられない。

ただ、スポーツ振興会からいいますと、例えば区がまたがったとしても、あくまでも小学校のつながりで、子どもさんには何も影響ありませんが、今後、区との関連の部分で、どのように取り扱うのかを事務局のほうでまとめてもらう必要があると思います。

今、区長さんとスポーツ振興会との絡みもない状況ですし、そこら辺だけやっぱり事務局のほうでまとめて、何かいい方法を示してもらいたい。

個人的には地域協議会は市からの交付金もでるし、相当メリットがあると思っていますが、区長さんとの絡みもありますので、そのあたりをよろしく願います。

【会長】

ありがとうございました。

事務局への要望事項ということで、先ほどの味岡地区の件も含めまして、事務局のほうで、一度良い方法を検討していただき、できるだけ設立しやすくしてもらえればと思います。

南部地区は、そういう区と学校区の不一致等の問題はありますか。

【委員】

あります。例えば常普請区は全く北里地区でありながら、小学校は南小学校という状況で、また、中学校になると応時中学校へ行かずに小牧中学校へ行かれるということになっております。

また郷中区の一部の方がどっちへ通ってもいいよということになっていて、旧住民の方々は、ほとんどが昔から北里小学校へ行かれるけど、北里小学校もかなり遠いんだわね。川の向こう側に南小学校が見えるから、後から引っ越してみえた新しい方々は、南小学校へ通われるという状況です。

実はスポーツ振興会の運動会がある場合は、郷中という地区がないもんで、子どもたちが参加できないというような、大変不便な目をして、郷中の子どもたちは地域の運動会があっても、参加するところもないし、見に行っても座るテントもないというような状況になっているから、これもひとつ考えてもらいたいなど思っているんですけど、大変難しい問題です。

【会長】

西部地区は、どうですか。

【委員】

そういう問題を言いかけると、どこも一緒なんです。そういう話になると、多分どこの校区も全部一緒だと思うんですけど、学校区を区割りするとき、前はきちっと区割りしておったけど、結果的に都合のいいところへ行ってもいいよという方針が出てきてから、その地域に生まれ育った人はどうしてもそこへ行きたいんでしょうけれども、新しい人は近くへ行きたいから、今の状況では避けられん話ではないかと思います。それをやっぱり細かなことまで言い始めたら、この協議会は成り立ちませんので、とりあえずそういう問題があるということを理解しながら、やっぱり別の方向へ動かないと、いつまでたっても堂々巡りで前へ進んでいかんような気がするので、その辺のところは御理解していただいて、せっかくこういう市民会議があるんだから、前へ話を進めていく場だろうというふうに思います。

【会長】

ありがとうございます。

この問題については、そういうことがあるからできませんと言われると、前へ進めないから、十分に区長と相談してもらいながら、事務局に検討してもらいたいと思います。

先ほども言ったように少なくとも3分の1は進めないかんで、もやもやになったところは早く解決してもらわないと、すぐ1年過ぎると思いますので、よろしくをお願いします。

【委員】

もうひとつ意見を言わせていただきますが、結局、こういう地域協議会をやろうとすると、今まで既存のもの、例えばスポーツ振興会や3あい事業など、そういうものを一遍白紙にして整理しないと、なかなか進みにくいのかなと思います。

個人的には、昔からずっと進めてきた小学校区単位の組織として、スポーツ振興会があります。これは30年近く前から始めて、私もスタッフとしてかかわった一人だから、十分に理解しているつもりだけど、そういうものをベースにした形でまとめていく、いずれにしても何か軸がないと話が進んでいかないと思いますので、そんなようなところも含めて検討していただければと思います。

【会長】

ありがとうございます。

おっしゃるとおり、スポーツ振興会が今小学校単位で全部ありますから、できればそれにのっかって、同じような区分けをしてやってもらえたらいいなと思います。

ただ、先ほど南小学校の話がありましたが、どこにも参加できない人が出てくるようなことはあってはいけないと思いますので、そのあたりについては、考えていく必要があろうと思っております。

そのほかどうですかね。

【委員】

今まで、制度設計をやっていくときに、小学校区単位にするのかどうかというのは、一番大きな問題だったと思いますので、これからは小学校区単位で進めていくということをアピールして、それからいろいろ始まっていく段階で部分的に修正するにしても、そこをやっぱり崩しちゃうと、もう全体的にやれないということになりますので、やっぱり小学校区単位でやっていくことを考えていかないと、どこかで行き詰まると思います。

それと、この市民会議の委員については、これを進めるために、協力してサポートしていくという立場にはありますけれども、この会でどこかの地区のやり方がどうだこうだということまではなかなか踏み込みづらいなということを思いますので、参考意見ということで、事務局は進めていくという形じゃないかというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。そのほかありませんか。

ほかにないようでしたら、全ての議題が終わりましたので、事務局のほうへお返しします。お願いいたします。

【司会】

御審議のほどありがとうございました。

それでは、委員の皆様へ最後に事務連絡をさせていただきます。

これで本日の会議は一旦閉めさせていただきますが、会議終了後に、特に今回新しく委員に就任された皆様方に、今までの経緯や本市における制度方針等について、改めて御説明させていただきたいと思っておりますので、恐れ入りますが、そのままお席のほうへお残りいただきたいと思います。

ほかの委員の皆様、もしくは新しく委員に就任された方で、この後御都合があるということでしたら、会議自体はこれで終了となりますので、お気をつけてお帰りいただきたいと思います。

それでは、これをもちまして第10回小牧市地域協議会市民会議を閉会させていただきます。皆様どうもありがとうございました。